施策マネジメントシート ～令和4年度の振り返りから令和5年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

長期振興計画の位置づけ	まちづくり分野	くらし分野	担当課	建設課・水道課・市民生活課			
	政策分野	社会基盤・環境	課長名	奥村裕昭・高橋英樹・平石栄夫			
	施策	1 快適な生活環境の整備		重点施策の該当	R4	-	R5
施策の目的	対象	市民、来訪者	意図	環境に負荷が少なく、便利で快適な生活を送ることができる			

施策の目標指標

目標指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標
住みよいまちと感じている人の割合(%)	73.1	70.7	75.8 (74.9)	(75.2)	(75.5)	(75.8)

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
88.1	39.1	86.4	36.7						
重要度DI	満足度DI								
86.0	13.4	83.2	11.0						

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
			2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度目標	6年度目標	7年度目標
住環境の整備		住んでいる住宅に不便を感じている人の割合(%)	10.1	12.5	12.2 (10.3)	(10.3)	(10.3)	(10.3)
住環境の整備		住宅改修工事補助金交付件数(件)	-	3	29 (21)	(21)	(21)	(21)
水の安定供給		有収率(%)	78.58	78.54	78.57 (79.51)	(79.81)	(81.06)	(82.30)
水の安定供給		累積欠損金(千円)	196,472	166,132	123,574 (157,692)	(115,488)	(111,224)	(108,698)
道路整備の充実		市道改良率(%)	59.8	59.8	59.8 (59.8)	(59.8)	(59.8)	(59.8)
港湾整備の充実		維持管理行動計画における補修対象施設数(施設)	-	-	40 (40)	(39)	(38)	(37)
地域特性を生かした景観づくり		あっぱ～らんどの利用者数(人)	29,660	30,707	27,887 (40,000)	(40,500)	(41,000)	(41,500)
地域特性を生かした景観づくり		都市公園利用者数(人)	33,450	33,280	32,660 (32,000)	(32,500)	(33,000)	(33,500)
環境衛生対策の推進		合併処理浄化槽の年間設置基数(基)	70	60	57 (75)	(75)	(75)	(75)
環境衛生対策の推進		火葬設備のトラブル件数(件)	0	0	0 (0)	(0)	(0)	(0)
自然環境の保全		海岸漂着物の回収量(t)	51	54	47 (43)	(45)	(45)	(45)
適正な廃棄物処理		一般廃棄物の処理量(t)	4,427	4,326	4,351 (4,500)	(4,500)	(4,500)	(4,500)
適正な廃棄物処理		不法投棄禁止看板の配布数(枚)	40	36	25 (20)	(20)	(20)	(20)

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
[建設課] 基本事業No.1・3・4・5	・生活様式の多様化に伴う利便性向上や基盤施設の老朽化、災害意識の高まり等を背景とした社会資本整備要望は依然多く、緊急性や優先度、費用対効果等の見極めに基づく迅速な取組及び適正な維持管理が求められている。
[水道課] 基本事業No.2	・給水人口の減少に比例して全体の料金収入は、今後減少していくことが予想される。また、施設の老朽化が進み更新が必要な施設が増加していくため、施設更新計画や経営戦略に基づく計画的な事業運営が必要である。
[市民生活課] 基本事業No.6・7・8	・合併処理浄化槽について令和2年度までの設置実績数を考慮し、令和3年度から令和5年度までの循環型社会形成推進地域計画では年間75基の総基数225基を定めた。(要因:人口減少、高齢化等) ・令和4年度末の汚水処理人口普及率は68.2%である。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止により、市民一斉海岸清掃が中止となっている。 ・馬毛島基地(仮称)建設事業に係る一般廃棄物の処理、処分方法等について、検討が必要である。

施策マネジメントシート ～令和4年度の振り返りから令和5年度の取組へ～

施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題		
	成果	現状・課題
[建設課] 基本事業No.1・3・4・5	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅等長寿命化計画に基づき、桜が丘団地改修工事、中谷団地木造住宅解体工事を行ったほか、鴨女町団地集約・建替事業に係る設計及び調査を実施した。 ・あつぽ～らんどでは、利用者の利便性向上を目的として、多目的グラウンドの照明修繕工事を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅には、老朽化やバリアフリー未対応等で居住水準が低い建物が多いため、計画的な改修等の検討及び措置が必要である。 ・あつぽ～らんどや都市公園では、老朽化した施設の安全対策と維持管理水準の向上が求められている。
[水道課] 基本事業No.2	<ul style="list-style-type: none"> ・阿曾浄水場で各水道施設の運転状況を集中監視することにより、漏水箇所の早期発見につながっている。 ・収入に対して支出が低く、黒字が続いているため累積欠損金の低減につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管路全体の更新率は低い状況にあり、耐震化を含めた施設整備を計画的に実施する必要がある。
[市民生活課] 基本事業No.6・7・8	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬炉3炉のうち2炉が老朽化していたため、令和4年度において入れ替えを行った。 ・一般廃棄物の処理においては、適正に処理、処分等を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸漂着物については、大半が市外で発生したものであると考えられるため、市内での発生抑制対策により漂着物を減少させるのは困難である。 ・馬毛島基地(仮称)建設事業が本格的に始まったことを受けて、一般廃棄物の排出量において具体的な数量の見通しが立っていない。

今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)	
継続・現状維持	[建設課] 基本事業No.1・3・4・5	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、社会資本整備事業等(交付金)を活用し、道路・橋梁、港湾漁港、公園、市営住宅等の整備を進めながら、施設設備等の長寿命化を意識した維持管理に努め、管理コストの縮減を図る。
拡大・充実	[水道課] 基本事業No.2	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の収支状況により、経営戦略の見直しを図り、今後の財政計画を修正し実態に則した計画を行っていく。 ・施設整備では、配水池の更新や配水管の布設替を行い、水の安定供給を図る。
継続・現状維持	[市民生活課] 基本事業No.6・7・8	<ul style="list-style-type: none"> ・馬毛島基地(仮称)建設事業に係る一般廃棄物の排出量について、具体的な数量の見通しが立っていないため、関係機関と連携しながら、処理、処分方法等について引き続き検討を行っていく。

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
継続・現状維持	【市民福祉部会】 施策担当課の記載する方向性のとおり。
継続・現状維持	【産業振興部会】 施策担当課の記載する方向性のとおり。